



動物愛護キャンペーン

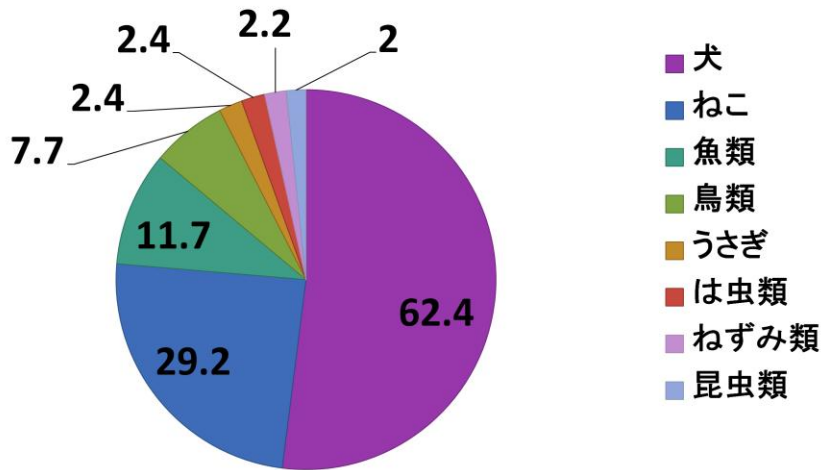
ペットと共生する
暮らしを目指して

ペットを飼う前に

- ◆最後まで責任をもって
- ◆近隣に迷惑をかけないように
- ◆感染症の知識を
- ◆むやみに繁殖させないように
- ◆迷子予防のために所有者明示を

1. 動物の生態を正しく理解し、人間の勝手な都合で責任を放棄することなく、最後まで面倒を見なければなりません。飼う前に、正しい飼い方の知識を持ち、動物の習性に適した適切な飼い方をして動物が安心して生息できる環境を整えましょう。
2. 人に危害を加えたり、近隣に迷惑をかけるのは、飼い主の責任です。糞尿や毛、羽毛などで近隣の生活環境を悪化させたりすることのないように、責任を持たなければなりません。また、動物が人間に危害を加えれば、人間社会で共生していくことができなくなります。そのような不幸な事態を引き起こさないように、適切なしつけや訓練をし、また無責任な放し飼いをすることのないように心がけましょう。
3. 先行きや、自分が世話できる範囲を超えた、無責任な繁殖をさせることが、人間にとっても、動物にとっても不幸な結果をもたらすということをしっかりと認識し、みやみに繁殖させないような処置をとりましょう。します。
4. 動物による感染症の知識を持ちましょう。動物と人の双方に感染するについて、正しい知識を持ち、自分や他の人への感染を防ぎましょう。
5. 人間社会の中での迷子は、ちいさな動物にとっては、生命の危険をとまいません。迷子を防ぐため、マイクロチップ、名札、脚環などの標識をつけ、所有者を明示することが必要です。

飼育ペットの種類



迷子になったらすぐ探す

犬



同心円を
描くように探す

猫



身を隠せるところ
を重点的に

遺棄は**犯罪**

迷子の動物を見かけたら
まずは保護

